

# 大船渡市の教育の振興に関する 施策の大綱（案）

大 船 渡 市

## 目 次

○ 大綱の策定にあたって .....	1
大綱の基本方針	
大綱の基本方向	
 ○ 教育を取り巻く諸情勢と課題 .....	2
1. 少子高齢化の進行	
2. 高度情報化の進展	
3. 価値観の多様化	
4. 国際化の進展	
5. 次代を担う人づくり	
6. いじめ、DV等による児童・生徒の生命又は身体への被害防止	
 ○ 施策の基本方向 .....	4
1. 生涯学習の推進	
2. 幼児教育の充実	
3. 義務教育の充実	
4. 社会性豊かな青少年の育成	
5. 生涯スポーツの振興	
6. 地域文化の伝承と創造	
7. とともに生きる地域づくりの推進	

## 大綱の策定にあたって

今般、国は地方教育行政の組織及び運営に関する法律を改正し、市長と教育委員会における教育に係る協議・検討の場として、総合教育会議を設置することとしました。

大船渡市は、この会議において、主に以下の項目について協議・検討を行います。

- 1) 大船渡市の教育の振興に関する施策の大綱（以下「大綱」という。）の策定
- 2) 大船渡市の教育を行うための諸条件の整備
- 3) 地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策
- 4) 児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがある  
と見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置
- 5) その他必要と認める事項

社会の変化を的確に見据え、教育のより一層の振興を図りながら、本市の特性を生かした教育のあり方について明確化するため、大綱は、「大船渡市教育振興基本計画」の基本理念にのっとり、「大船渡市総合計画」、「大船渡市復興計画」との整合を図りながら策定し、基本方針と7項目の基本方向を以下のとおり定めます。

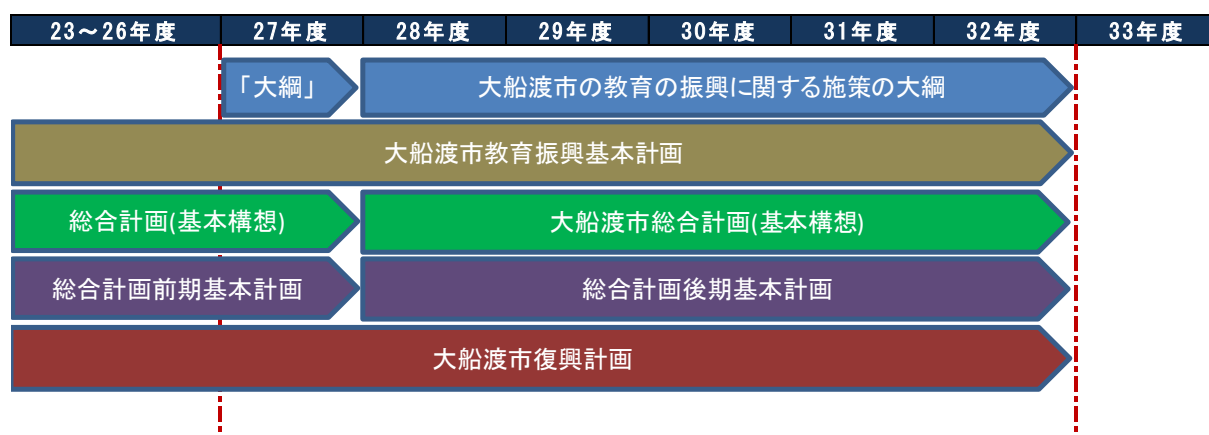
### 大綱の基本方針

「豊かな心を育む人づくり」

### 大綱の基本方向

1. 生涯学習の推進
2. 幼児教育の充実
3. 義務教育の充実
4. 社会性豊かな青少年の育成
5. 生涯スポーツの振興
6. 地域文化の伝承と創造
7. とともに生きる地域づくりの推進

なお、大綱は総合計画後期基本計画策定後、すみやかに内容の改定を行います。



## 教育を取り巻く諸情勢と課題

市民が生涯にわたって心豊かな生活を送るためには、だれでも、いつでも、どこでも自主的に学べる生涯学習の環境づくりが肝要です。教育を取り巻く情勢は少子高齢化、人口減少、高度情報化の進展、価値観の多様化などにより大きく変化しています。取り分け震災後の復興においては生きがい創出や、地方活力創生など、さまざまな課題に対応するための効果的な取り組みが求められており、教育委員会と連携しながら、幼児教育・学校教育の充実をはじめ、生涯学習、芸術・文化の振興などに努める必要があります。

### 1. 少子高齢化の進行

我が国の人口は、出生率の低下や平均寿命の伸長に伴い、先進国でも例をみないほど少子高齢化が進行し、既に人口減少社会に移行しています。本市においても、少子高齢化が進行し、人口は減少基調にあります。

また、核家族化や地域連帯意識の希薄化などの社会の変化に伴う家庭や地域における教育力の低下や震災後の地域コミュニティの再構築や学校の小規模化により、子どもたちの社会性や協調性を培う機会の減少が危惧されるところです。

このような中であって、子どもたち一人ひとりが、生命の大切さや個人の尊厳を重んじる精神、他者に対する思いやりやいたわりの心を育めるよう、家庭・学校・地域社会などが一体となって、子どもたちに感動する心、自主性・社会性等を育むための学習機会の提供や家庭教育の充実を図っていくことが必要です。

さらに、平均寿命の伸長によりかつて経験したことのない超高齢社会の到来が予想される中で、高齢者の学習・文化・スポーツ活動等の機会や施設設備を充実するとともに、高齢者が長年培ってきた知識・経験をさまざまな形で生かしながら、生きがい創出と社会参加を一層促進することが求められています。

### 2. 高度情報化の進展

情報通信技術の飛躍的な発展は、高度情報通信ネットワーク社会を拡大し、地域情報の受発信をはじめ、地域間交流の拡大、教育機会や高齢者、障がい者の社会参加機会の拡充など、生活様式等にもたらす効果は計り知れないものがあります。

学校等では、さまざまな団体等との連携・協力により、単独ではできない教育活動の展開が可能となるとともに、必要な情報を迅速に入手・発信できることから、個人の日常の学習活動や文化活動の形態が大きく変化しています。

このことから、学校等においては、情報機器などに関する学習ニーズや施設設備の活用、さらには情報の選択や活用する能力の育成が求められるほか、ネットワーク環境のさらなる整備の促進や教職員の研修の充実など、発展する高度情報通信社会に即した対応が求められています。

加えて、高度情報化に伴う人間関係の希薄化や直接体験の機会の不足などが懸念されるところであり、学校のみならず家庭・地域社会が一体となって交流を通じた体験学習に取り組むことが必要です。

### 3. 価値観の多様化

余暇時間の増大など社会の成熟化に伴い、個人の価値観や生活様式の多様化が進行し、芸術文化活

動をはじめ、ゆとりを生かした創造的な活動に取り組むなど、仕事と生活のバランスを図りながら生活の質をより高めようとする傾向が強くなっています。本市においても、震災後間もなく生涯学習施設等の再開を求める声が数多く寄せられたことから、その意欲の大きさが伺われます。

このため、生涯学習や芸術・文化、スポーツ・レクリエーション、ボランティア活動など、自己実現の場や機会を拡充するとともに、多様なニーズにきめ細かく対応するための条件整備を進めていくことが求められています。

また、核家族化の進行や震災後の住宅移転等などにより、地域の連帯感の希薄化が懸念されていることから、地域コミュニティの重要性を再認識し、住民一人ひとりがお互いを理解し尊重し合いながら、責任を果たしていく社会の実現が求められています。そのための環境整備の充実や学習機会の提供など、変化する生活環境に合わせた対応が必要です。

#### 4. 国際化の進展

国際化の進展については、資源や食糧問題などさまざまな課題が世界的規模で取り上げられているほか、外貿航路の開設や交通・通信手段などの発達により、企業活動や教育、文化、スポーツなどあらゆる分野において国際交流が拡大しています。

震災後本市にも世界各国から多くの支援が寄せられたところであり、今後とも、異なる文化や価値観を有する外国の人々との交流がますます盛んになることから、郷土の文化歴史の理解はもとより、語学力や表現力などのコミュニケーション能力の向上や異文化への理解を深めるため、学校等における郷土理解学習、外国語学習や国際理解教育などの推進が求められています。

#### 5. 次代を担う人づくり

地方版総合戦略の策定に代表される地方分権の進展に伴い、地域のことは地域自らが決定し、責任を負うという自立と主体性がより一層求められる中、今後のまちづくりには、それを支える多彩な人材が必要です。

そのためには、家庭・学校・地域社会などが連携を深めながら、地域の特性や人材を活かして特色ある学校教育の充実を図るとともに、市民一人ひとりが自主的・主体的に、生涯学習や芸術・文化、スポーツ・レクリエーションなどの活動をするための環境づくりを進めていく必要があります。

#### 6. いじめ、DV等による児童・生徒の生命又は身体への被害防止

全国的に陰湿ないじめや、家庭等でのDVなどにより、児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じています。本市においても被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合においては、緊急に講ずべき措置について、体制の構築と情報の共有を進めていく必要があります。

## 大綱の基本方向

7項目を大綱の基本方向とし、総合的に施策を展開します。

### 1. 生涯学習の推進

中央公民館や図書館、博物館、各地区公民館などでは各種事業を展開し、市民の多様な学習ニーズに応えます。

中央公民館においては、本市の生涯学習活動の中核施設として、変化する地域コミュニティのあり様に配慮しつつ、各地区・地域公民館と連携し、生涯学習情報及び学習機会の提供に努めます。

図書館は、平成20年度に市民文化会館と一体的に整備され、利便性が大きく向上しました。今後とも、日常的な図書の貸し出しやレファレンス（調査・相談業務）、図書館資料の収集、移動図書館車の運行などの充実に加え、読書推進に係る各種事業など多彩なサービスを提供します。

博物館は、常設展示や特定テーマの企画展示、各種教育普及事業を通じて市民の学習意欲に応えるとともに、図書館と同様、有形・無形の知的情報や財産を収集・保存し、活用に供します。

### 2. 幼児教育の充実

就学前教育の充実と教育水準の維持・向上を図るため、子育て環境の充実や保護者の経済的負担の軽減、私立幼稚園、私立保育園の運営支援、並びに市立認定こども園等の適切な管理運営に努めます。

子どもに基本的な生活習慣を身につけさせ、保護者との情報提供、情報交換の機会の拡充を図るとともに、小学校への円滑な移行を図るため、小学校と幼稚園、保育所、認定こども園等との連携に努めます。

### 3. 義務教育の充実

少子化の進行に対応し、将来にわたって良好な学校教育環境を維持するため、市立小・中学校の適正規模・適正配置について市民と共に検討して方針を決定するとともに、学校施設の耐震化工事や、被災校の移転新築工事を進めます。

教育内容では、基礎学力の確実な定着に努めるとともに、情報教育、外国語学習や国際理解教育、体験活動による環境教育など、今日の社会の変化に対応した教育を推進します。

さらに、地域に開かれた学校づくりを目指し、各学校の個性を生かしながら、地域住民との交流機会の拡充や体験学習などに、積極的に取り組みます。

### 4. 社会性豊かな青少年の育成

全中学校への「心の教室相談員」、小中学校を巡回する「スクールカウンセラー」や「教育相談員」を配置し、児童・生徒が気軽に相談できる体制を継続します。

また、家庭教育学級や青少年地域活動事業などの展開により、地域における世代間交流を促進し、児童・生徒の健全育成について住民意識の高揚を図るとともに、地域が一体となって取り組む環境づくりに努めます。

さらには、市PTA連合会や学校警察連絡協議会、更生保護女性の会などで構成する青少年育成市民会議と連携して環境パトロールやあいさつ運動などに取り組みます。

## 5. 生涯スポーツの振興

生涯を通じてスポーツ・レクリエーションに親しむことのできる環境の整備を図るため、市民体育館等の体育施設の整備・充実や、小中学校屋内運動場やグラウンドの開放を進めます。

また、財団法人大船渡市体育協会及びその加盟団体をはじめ、スポーツ・レクリエーション団体の活動支援・育成、指導者の確保・養成に努めます。

さらに、大船渡新春四大マラソン大会や大船渡ポートサイドマラソン大会など各種大会をはじめ、第71回国民体育大会公開競技、デモンストレーションスポーツの開催に積極的に取り組みます。

## 6. 地域文化の伝承と創造

市内には、国指定9件、県指定8件、市指定69件の計86件の優れた文化財があり、その適切な保護・管理、開発に対応した埋蔵文化財の調査研究、文化財めぐりなどの普及・愛護思想の啓発事業等に取り組むとともに、郷土芸能保護団体への助成や支援を行います。

大船渡市民文化会館、大船渡市民交流館・カメラホール、三陸公民館などは、市民の芸術文化の鑑賞や発表の場として広く利用に供します。

また、市民の芸術文化創作活動への関心が年々高まっており、大船渡市芸術文化協会を中心に活発な創作活動が行われており、活動の支援を行います。

## 7. とともに生きる地域づくりの推進

本市が恵まれた自然環境や地域資源を最大限に生かしながら、魅力あるまちづくりを進めていくためには、市民が自分の住む地域を愛し、地域のさまざまな活動に協力し合う環境や体制が整っていることが不可欠です。

このことから、市民が、地域公民館や地区公民館活動として、市内一斉清掃や花いっぱい運動への参加、各種スポーツ・文化活動、伝統ある地域行事など、多彩な活動に主体的に参画できるよう支援します。

また、地域の枠にとどまらず社会的支援活動を展開している各種市民活動団体が、それぞれの目的を達成できるよう支援するとともに、連携しながらまちづくりを推進します。